

分かる と 快感!

Z会ナビ

算数 理科 歴史 地理

お題

日本ではどのように文字を取り入れ、使ってきたのか?

(大阪大学 2012年 日本史)

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

私たちは今、ひらがな・カタカナ・漢字の3種類の文字を使っています。他の国を見てみると、中国は漢字、アメリカ合衆国はアルファベットと、使う文字は1種類である国がほとんどです。日本ではなぜ、3種類の文字を使うようになったのか……。今回は文字の歴史のお話です。

最初にやってきたのは漢字

文字には、記録すること、人に伝えることの2つの大事な役割があります。日本にはもともと文字はなく、覚えておく必要があることは暗記して、人に伝える際には口で言い伝えていたと考えられています。

しかし、国が大きくなるにつれて、覚えておかななくてはならないことが増えますし、伝えるべき人も多くなります。口伝えでは、たくさんの人に伝えるために時間がかかりますし、間違っ

て伝わってしまう可能性も高くなります。そのような中、中国大陸からやってきた人たちによって、漢字が日本に伝えられました。日本の政府は、大陸からやってきた、漢字が使える人々を役人として雇い、政府の文書を作成させました。このため、日本の政府の文書は中国語を使って漢字で記されていきました。日本人の役人たちも、中国語と漢字がわからないままでは仕事ができな



イラスト・瑞木匠

文字の発達と表現

中国から来た漢字で日本語を表すには

しかしこの方法を使っていると、日本独自の音を持つ、名前や地名を表すことができません。そこで編み出されたのが、漢字の音だけを使って日本独自の言葉を表す方法です。この方法を使うと「いろはにほへと」は「以呂波仁保部止」となります。いわゆる当て字ですね。漢字はもともと一字一字に意味を持ちますが、この方法では、音を使っているだけなので意味は関係ありません。この方法は、政府の文書などよりも、和歌などの中で使われることが多く、日

本の代表的な和歌集「万葉集」で多く見られることから、「万葉仮名」と呼ばれました。

漢字から生まれたカタカナ・ひらがな

こうして、日本独自の音も漢字で表されるようになると、漢字だけで書かれた政府の文書に、読みやすいように送り仮名をふるようになりました。送り仮名としていちいち漢字をしっかり書くのは面倒なので、編み出された文字がカタカナです。「加」から「カ」、「多」から「タ」というように、カタカナは、元の漢字の一部を使って生まれたものが多いと考えられています。

同じ頃、「安」から「あ」、「以」から「い」というように、漢字の形を崩してひらがなが生まれました。漢字が、政府の文書など公式の場所です使われる文字だったのに対し、ひらがなは、和歌や文学、手紙などの私的な場所です使われる文字として発達しました。有名な「源氏物語」もひらがなで書かれました。カタカナ・ひらがなが生まれたことで、日本語の表現はより豊かなものになっていったのです。【Z会・河原井彩】

! 今回の教訓

中国から伝わった漢字が、日本独自の音を表せるように工夫される中で、カタカナ・ひらがなが生まれました。



河原井彩さん 2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を経て、現在は小学生向けデジタル通信教育「デジタルZ」を担当。新潟県生まれの埼玉県育ち。